

2023年11月8日(水) 札幌バプテスト教会 祈禱会

本日の聖書箇所: **コロサイへの手紙 1:24~29** (口語訳:新約315頁)

- 24節でパウロはこう言います「**今わたしは、あなたがたのための苦難を喜んで受けており、キリストのからだなる教会のために、キリストの苦しみのなお足りないところを、わたしの肉体をもって補っている。**」と。捕らえ方によってはこう読めるかもしれませんが・・・「イエス・キリストの苦難は、不十分であった」と。そうだとしたら、私たちの行いは、恵みに対する喜びの応答ではなく、救いを完成するための努力になってしまいます。この考えに基づくと、救いに達成するかしないかという線引きがされ、非常に窮屈でギスギスした日常になりかねないと言えるでしょう。そもそも誰がその線を決めるのでしょうか？教会でしょうか？人がこの線を決める時、救いを得るために行いをする事になってしまいます。カルト宗教に共通する信仰の姿です。このようなことを踏まえると「キリストの苦難は、不十分であった」という考えは受け入れがたいものです。違う読み方はないのでしょうか？29節から後戻りしながら、24節の意味を詳しく見ていきたいと思えます。
- 29節でパウロは、自らの努力には目的があると言っています。そしてその「**苦勞しながらの努力**」は「**わたしの内に力強く働いておられる(キリスト/神/霊)の力**」によるものだと言うのです。自分の力による努力だとは言っていないところが肝です。
- 28節ではパウロの「**努力**」の目的が明確にされています。それは、彼が福音を分かち合ったすべての人が「**キリストにあって全き者として立つようになるためである**」と記されています。そしてそれを達成するためにパウロは「**キリストを宣べ伝え、知恵をつくしてすべての人を訓戒し、また、すべての人を教えている**」と言うのです。これはキリストの力によるパウロの絶え間ない努力です。
- 26・27節では、パウロの教えの詳細が記されています。26節の「**奥義**」は何を指しているのでしょうか？過去の時代に完全に明らかにされていなかったのは、ユダヤ人の救世主キリストが実際には、非ユダヤ人の内にもおられるということです。キリストが内におられるのだから、「**望み**」と信頼をもって生きようとパウロは教えられたのです。
- 25節では、パウロの働き、ないしその努力がいかに位置づけられているかを説明しています。つまり、「**神の言を告げひろめる務**」は「**神から与えられている**」と言うのです。そして神さまから務めを与えられているということは、教会に奉仕することと切り離せないと言うのです。
- 24節で今日の聖書箇所の課題が浮かび上がってきます。そもそも、「**キリストの苦しみのなお足りないところを補うこと**」などできるのでしょうか？29節まで見ると、パウロの「**務**」は国々に神の言を届け、希望を指し示し、人々を信仰に招くものでした。そしてこの「**務**」において苦しみを受けたのでした。この文脈を踏まえると、「**キリストの苦しみのなお足りないところ**」とは、イエス・キリストの救いの価値が足りないと言う意味ではなく、「**キリストの苦しみ**」による救いがまだ皆に知られていないという意味なのでしょう。神さまのご意志は、キリストが既に皆の内におられるという「**奥義**」が、一人一人に知られることなのです。そのためには、キリストを述べ伝える働きが必要であり、そこには「**キリストの苦しみ**」が伴うと言っているのでしょう。
- ここでイエスさまの言葉を思い出します。「**すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやしく、わたしの荷は軽いからである**」(マタイ11:28-30)。キリストを述べ伝えることは、世の中の流れに逆らうことを意味し、それ故に苦勞は多いと言えるでしょう。イエスさまご自身が逆風の中を歩まれたのですから。イエスさまは私たちに彼の「くびき」をくださり、その「荷は軽い」と言います。この「くびき」とは家畜が使う、二人用の「くびき」です。イエスさまは共に荷を負い、それと同時に、私たちもイエスさまの荷を負うのです。イエスさまと共に歩む道には必ず喜びがあると、ここにおられる皆さんも言えるのではないのでしょうか？パウロはそれ故に、苦難の中でも多くの喜びを見出したのでしよう。(西本詩生)

《祈りのリクエスト》

- | | |
|----------------------|--|
| ① 教会の伝道の働き・教会財政のために。 | ⑧ 弁当分かち合いプロジェクト(毎週金曜)。 |
| ② バプテスマ・入会準備中の方々。 | ⑨ 各神学校と神学生のため。 |
| ③ 入院／療養中／高齢で来られない方々。 | ⑩ 道内の教会(無牧師の苦小牧)、
ハワイ・オリベット教会[姉妹教会]のため。 |
| ④ 誕生日・バプテスマを迎えた方々。 | ⑪ 日本と世界の平和のため(パレスチナ、ウクライナ、香港、ミャンマー)。被災地のため。 |
| ⑤ 主日礼拝(説教:石橋牧師) | ⑫ 困窮した生活を送っている人たち、孤独や
苦しみの中に置かれている人たちのため。 |
| ⑥ 「聖書を学び合う会」の活動のため。 | |
| ⑦ ひかり幼稚園の働きのため。 | |

《私の祈りのリクエスト》